

ミッション ビジョン	○北広島町「ふるさと 夢 プロジェクト」の実現 ○体力・耐力，学力，豊かな心を身に付けさせ，変化の激しい社会でもたくましく生きる生徒の育成 ○地域・保護者から信頼される学校づくり ○生徒の命を大切に作る学校 ○「きたひろしま JOB トライアル」の活用 ○自らを磨くとともに仲間とともに磨き合う生徒を育成する学校 ○「課題発見・解決学習」を推進し，生徒の主体的な学びを育み，生きる力を身に付けさせる学校
学校教育目標 目指す生徒像	「夢や志をもち，創造性豊かにたくましく生きる生徒の育成 ～自分を磨き，仲間とともに高め合い，主体的に行動できる生徒～ ○礼儀正しく，一生懸命取り組む生徒 ○お互いを尊重し，仲間と協力できる生徒 ○地域・社会と将来に目を向け，創造性豊かに考え，主体的に行動できる生徒

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値 (年間)	自己評価				学校関係者評価		改善の方向性
						達成値	達成度 [%]	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	
確かな学力	生徒の主体的な学びを実現し，資質・能力を含めた確かな学力を身に付けた生徒の育成	生徒の主体的な学びの実現	授業づくりの３本柱を取り入れた授業の実践	全教科，毎時間「授業づくりの３本柱」を意識した授業の展開（教職員アンケート）	100%	85%	85%	B	共通した授業構成は全教科で意識して取り組んでいる。ICTの積極的活用を行い授業改善に取り組む。	B	コロナ禍でも工夫した授業を取り組んでいた。新入生には主体性等の意味をしっかり理解させるように。	年度当初の研修で，全員で「授業づくりの３本柱」を確認し，教職員間の授業参観を実施する。
		書く力，説明する力の育成	定期テストへの記述式の問題の設定	実施割合（教職員アンケート）	100%	100%	100%	A	入試問題を一つの指標におきながら，思考力・判断力・表現力の育成を図る。	A	入試問題を指標とし，学力向上を目指した取り組みが行われていた。	今後も継続し，取り組みを進める。
		基礎学力の定着	家庭学習と週末課題の定着	家庭学習・週末課題の取組割合（生徒アンケート）	100%	92.5%	92.5%	B	意識や提出率は向上しているが，内容ややり方の改善は必要である。	B	生徒個人の心に「やらなければ」という意識を持たせ，課題内容の吟味，やり方の改善を行うように。	学力差を考慮し，課題内容の精選を行う。やりきらせる取り組みを徹底する。
			実力テスト（年間２回実施）で基礎学力の定着を確かめる	校内の平均点が全国の平均点を上回る。（２回目実施の実力テストにおいて）	80%	20%	25%	D	課題発見・課題解決型の学習とドリル学習を組み合わせ，学力の向上を図る。	D	生徒個々の苦手な部分を分析するとともに基礎学力の定着を図る取組が必要。	各教科で生徒の弱点を把握し，授業等で対策を図る。また，ドリル学習を仕組む。
たくましく健やかな体	基本的な生活習慣を身に付け，体力向上に取り組む，自己管理ができる生徒の育成	基礎的な体力の向上 望ましいメディア習慣の育成	３点（起床・就寝時刻，家庭学習開始時刻）固定の徹底	３点固定を８割以上実施できた生徒の割合（集計データ）	80%	71.7%	89.6%	B	どの学年も特に就寝時間の固定が図られていないので，生活リズムの改善を啓発していく必要がある。	B	家庭との連携を密に行い，小学生の時から３点固定の確立をすすめるべき。	今後も家庭・小学校とも連携し３点固定の定着を図る。
			ノーメディア週間の設定	ノーメディア実施率（生徒アンケート）	80%	70.5%	88.1%	B	達成率向上をめざし，生徒だけでなく保護者への啓発もさらに取り組む必要がある。	B	なぜ，この取り組みが必要なのか，再度，検討してもらいたい。保護者の意識を高めることが大切。	生徒・保護者への設定理由周知と取組の家庭での指導を意識してもらう。
			新体力テスト結果の分析に基づく重点項目の絞り込みと部活動等による全教職員での取組	５月，１１月に測定し，記録が伸びた生徒の割合（得点）３年を除く（新体力テスト結果）	80%	—	—	—	１学期１回実施。これまでの課題（握力）が改善されたが，コロナ禍の影響が持久力が低下した。	—	今年度も運動する機会が失われ，体力維持が困難であった。ぜひ，体育や部活で体力向上に努めてください。	コロナによる運動等の制限が緩和される状況を踏まえ，体育や部活等で持続力の向上を目指す。
豊かな心	ふるさとに誇りと愛着を持ち，道徳的実践のできる生徒の育成	生徒指導の３機能を生かした活動を仕組むことによる自己肯定感の育成	生徒による自主的な活動を支援し，満足感・充実感が味わえる生徒会活動，学校行事の実施	各行事の達成度・満足度（生徒アンケート）	100%	96.1%	96.1%	B	体育祭・文化祭とも半日開催としたが，生徒は本校の良き伝統をしっかりと受け継ぎ，やり切った感を持つことができた。	B	体育祭など行事は縮小版ではあったが，生徒は一生懸命に取り組み，充実感を味わっていた。	行事の精選や時間短縮の中，目標を達成することができた。今後も継続していきたい。
		ふるさとに関心をもち，貢献しようとする生徒の育成	総合的な学習の時間等の授業で地域との関わりを持った学習課題を設定し，貢献への意欲を高める	ふるさとへの関心が高まり，ふるさとに貢献したいと思う生徒の割合（生徒アンケート）	100%	82.3%	82.3%	B	JOB トライアルなどの校外活動が一切できない中，総合的な学習の時間等でオンラインによる外部講師の招聘など工夫して取り組むことができた。	B	現在，コロナ禍により地域との交流が困難な生活が続いているが，これからも地域に根ざす学習を行ってほしい。	来年度は状況を見ながら，総合的な学習の時間の学習内容を復活させていきたい。
信頼される学校	保護者・地域の方と連携し，地域に信頼され，大切にされる学校づくりの推進	保護者・地域への積極的な情報発信	学年・学校便りの発行とホームページの更新	保護者対象アンケートの肯定的評価の割合（保護者アンケート）	100%	93.1%	93.1%	B	今年も引き続き，学年通信や学校だより・HPの活用で情報発信は継続できた。	B	大変とは思いますが情報発信をお願いする。自作の消毒機は特によかった。	コロナ禍で保護者が学校に来る機会が少なかった。情報発信を継続する。
		情熱と使命感をもち，生徒に規範を示す教職員	服務研修の実施と不祥事〇の継続	・研修計画に対する実施割合（予定回数/実施回数） ・不祥事発生件数〇件	100%	100%	100%	A	年度当初の計画に沿って研修を行うことができた。自分事として研修に臨めるよう意識の向上を目指す。	A	信頼される学校の基本である。服務研修を継続し，不祥事〇を目指してください。	今後も服務研修や日常的な注意喚起に努め，不祥事〇を継続する。

＜自己評価＞ A 100%以上 B 80～100% C 60～80% D 60%未満
＜学校関係者評価＞ A 適正 B ほぼ適正 C あまり適正ではない D 適正でない E わからない